

SEIKAEN

生きる力を養う施設

老人保健施設 清華苑養力センター



社会福祉法人 三幸福社会

清華苑

miyukifukushikai seikaen

施設概要

【開設年月日】

平成10年5月1日

【建物構造】

鉄筋コンクリート鉄骨造3階建

【入所定員】

100名

【併設サービス】

ショートステイ、訪問リハビリ、通所リハビリ

【居室】

1人部屋 4室

2人部屋 8室

4人部屋 20室

【共有設備】

1階 事務所、ロビー、診察室、機能訓練室、談話室、調理室

2階 一般浴室、サービスステーション、散髪室、食堂、居室

3階 機械浴室、サービスステーション、食堂、居室



老人保健施設 清華苑養力センター

老人保健施設は、住み慣れた地域や自宅で生活し続けるため、リハビリを継続することにより心身機能の維持・向上を支援していく施設として位置づけられています。

ご本人は自宅へ帰りたいたいという思いがあっても、介護者の高齢化、介護の負担などご家族にとっては在宅介護に関して強い不安を感じ、自宅での生活は無理だと諦めてしまう現状があることも確かです。清華苑養力センターでは、自宅と施設の短期間の往復型の利用を提案するなど、他職種が協働して在宅支援に取り組んでいます。

在宅復帰後は、通所介護、通所リハビリ、訪問介護、訪問リハビリ等の在宅介護サービスと連携を図り、在宅生活を支援いたします。

【法人内各施設一覧】

1



2



3



4



5



6



7



8



- 1 特別養護老人ホーム 清華苑（ショートステイ）
通所介護 清華苑デイサービスセンター
- 2 ケアハウス 清華苑シルバーライフ
- 3 老人保健施設 清華苑養力センター（ショートステイ）
訪問リハビリ
- 4 通所リハビリテーション 清華苑すいすい
- 5 小規模多機能型居宅介護 大久保苑
グループホーム 清華苑ポートピア
- 6 居宅介護支援事業所 清華苑ケアガイドステーションⅢ
訪問介護 清華苑ホームヘルプステーション
- 7 グループホーム 清華苑
- 8 居宅介護支援事業所 清華苑ケアガイドステーションⅠ
ふくし相談センター

入所までの流れ

- 1 入所のご相談受付
- 2 入所申込
【ご提出頂く書類】 利用申込書、情報提供書
- 3 面接
支援相談員と看護師が訪問し、心身のご状態を確認させていただきます。
- 4 入所判定会議
- 5 入所判定会議の結果をご連絡します
- 6 ご入所当日
職員一同が温かくお迎え致します。
入所当日は、当苑医師の診察や契約手続き等がありますので、ご家族にも来苑頂きます。
- 7 ご自宅訪問
ご自宅を訪問し、住環境を確認させていただきます。
専門職間で情報共有を行い、在宅復帰を目指した具体的なりハビリ計画を立案します。



サービス内容

リハビリ

- ・リハビリは、ご利用者の疾病に配慮しつつ、身体状況、住宅環境なども考慮しながら、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士など専門職により実施します。

入所後3か月間は、週3～5日、1回20～40分の集中的なリハビリを実施します。

※3か月のうちに退所される場合、集中的なリハビリは終了となります

※リハビリ職員数に応じてリハビリ回数が週3～5回に変動します

食事

- ・管理栄養士の献立による食事を、各階のホールにて1日3食ご提供します。
- ・食事開始時間 朝食8時、昼食12時、夕食18時

入浴

- ・浴室は、3種類（一般浴・チェアインバス・特殊浴）あります。
- ・入浴は、週2回実施します。
- ・入浴予定日に入浴出来なかった場合は、蒸しタオルでお身体を清拭します。

各種相談

- ・日常生活に関する様々なご相談に支援相談員が応じます。
- ・ご家族や関係機関の職員と連携を図り調整します。

緊急対応

- ・各ベッドにナースコールを設置しています。
- ・オンコールにて24時間職員が対応します。
- ・体調急変時は、施設医師や看護師と連携を図り救急搬送等対応します。

健康管理

- ・施設医師が定期的に回診し、健康管理に努めています。
- ・協力病院や専門医への通院を必要に応じて実施しています。
- ・外部の歯科診療所による訪問サービスを受ける事も可能です。

面会

- ・新型コロナ感染対策の為、面会方法や時間など制限があります。
- ・面会可能時間 10:00～11:30 13:30～17:00

YOURiKi COLLECTION

シニアファッションショー



イベントレポート

シニアファッションショーを開催して

2025年9月21日(日)、第4回目となるシニアファッションショー「YOURiKi COLLECTION 2025」を開催いたしました。

「衣装を通して、ご利用者の「人となり」

をより深く表現できないか」この想いを胸に

神戸芸術工科大学の笹崎綾野教授を訪ねたことが、今回のプロジェクトの始まりでした。

「歳を重ねてもおしゃれを諦めたくない」

「音大切に着ていたあの服をもう一度着たい」そんなご利用者の声をもとに、コンセプトは「THE REVIVAL」と名付けられました。

新たなプロジェクトは、笹崎先生からご紹介いただいた同大学名誉教授・見寺貞子先生のご協力を得て、本格的に始動しました。見寺先生はユニバーサルデザインの分野に精通されており、高齢者施設での衣装制作にも大変ご興味を持ってくださいました。

専門分野は違えど、私たちは共通の目的に向かって迷いなく進み始めました。まず、参加事業所の実行委員を中心に、ご利用者のご自宅に眠っていた洋服や着物を選定。ご利用者やご家族へのヒアリングも行いました。

時には職員が直接ご自宅を訪問し、ご本人やご家族と一緒に衣装を選ぶ機会を設けることができました。この過程は、現場で働く職員にとっても非常に貴重な経験となりました。

本番に向けて、ご利用者は歩行練習を重ね、職員はメイクの練習を実施しました。演出の力ギとなる司会原稿についても、声のトーンや表情に至るまでミーティングを重ね、細やかな調整を行いました。

前日の大雨が嘘のように、当日は眩しいほどの晴天に恵まれました。養力センターの中庭にはレッドカーペットが敷かれ、学生ボランティアと職員によって華やかな舞台が完成。音響も整い、万全の体制でショーがスタートしました。

司会者が語るエピソードと穏やかな音楽に合わせ、リメイクによって蘇った服たちは、まるで自然にご利用者の笑顔を引き出すかのようにでした。その笑顔の瞬間は、今でも私たちの胸に鮮明に焼き付いており、思い出すたびに心が熱くなります。



清華苑養力センターでは、四季折々、ご利用者に手によって植えられた花々が中庭を彩ります。自然豊かで広大なランドスケープを活かして園芸療法を実施しています。



ココロを耕す癒しの時間 養力センターの園芸療法



清華苑養力センターは、緑豊かで自然を身近に感じる場所に立地し、英気を養いながらリハビリに取り組む事ができます。

屋内ばかりで過ごす時間が増えたと四季を感じる事が少なくなり、寒さ暑さなども感じにくくなってしまいます。

当苑には、養力ガーデンという中庭があります。四季折々の草花は勿論のこと、様々な小鳥のさえずりや虫の声を聴くことができ、五感を使って季節を感じることが出来ます。春には桜の木の下でお花見をすることもできます。

日々のレクリエーションや個別リハビリでは、ご利用者への生活マネジメントの一環として積極的に散歩を取り入れています。

また、園芸療法として季節の花の植え付けや水やりを行い、土や自然に触れながら植物を育てる楽しみを実感し、ご利用者の皆様と職員で喜びを共有しています。

是非、当苑にご来苑の際には、清華苑養力センター自慢の養力ガーデンにも足をお運び下さい。



YOURiKi GARDEN





リハビリテーション

清華苑養力センターは、病気、けがなどの入院治療を終えて病状が安定しているものの、介護が必要な状態の方に、在宅復帰を目標として、看護やリハビリ、日常生活上の介護サービスを提供する施設です。

新規入所後3か月間は、短期集中リハビリテーションを実施します。この期間では、心身ともに自立した日常生活を送るために必要な動作練習やスケジュール管理などの練習を行います。

ご利用者の心身の機能評価に加え日常的に環境評価を行い、お一人お一人に適した環境を整え、福祉用具を導入するなど、ご利用者が安心安全に生活を送ることができるよう各専門職と連携します。





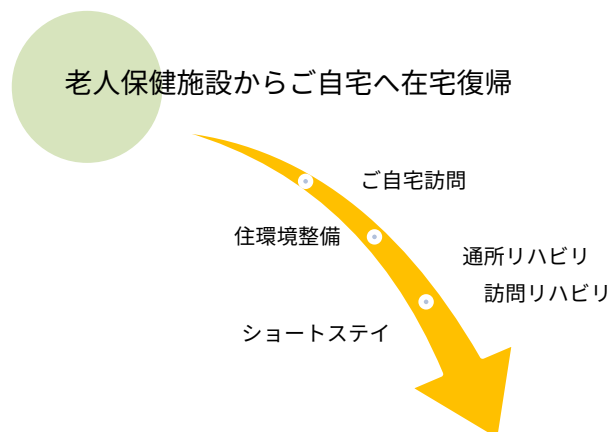
在宅復帰支援

当施設では、在宅復帰を大切に考え、入所時にご自宅を訪問し、住環境や生活状況を確認します。専門職が情報を共有し、目標を定めたりハビリを行います。

退所前には、ご利用者と一緒にご自宅を訪問し、在宅生活に必要な介護サービスや福祉用具、住環境の整備について検討します。退所後も、在宅生活が問題なくできているか確認を行っています。

併設のショートステイ、訪問リハビリ、通所リハビリなどの在宅サービスも活用し、ご自宅での生活が続けられるよう支援します。

「帰る家があるからこそ、施設での生活も安心できる」
ご利用者・ご家族に寄り添い、これからの暮らしを一緒に考えていきます。





ICT の活用

近年、介護の現場では ICT や福祉ロボットの活用が進んでいます。清華苑養力センターでは、人の目や経験だけに頼らず、機器を活用してご利用者の状態を正確に把握し、安心・安全なケアにつなげています。

清華苑養力センターでは、一部のベッドに「眠りスキャン」を導入しています。ベッドの下に設置することで、ご利用者の睡眠状態や呼吸、心拍の様子を離れた場所から確認することができます。異常があった場合はアラームが作動し、早期対応が可能です。

これにより、夜間に頻繁な訪室を行わずに見守ることができ、ご利用者の眠りを妨げにくくなると同時に、職員による安全な見守り体制を実現しています。

今後も福祉機器を活用し、ご利用者の安全と安心な生活を支えてまいります。





ショートステイ

ショートステイでは、生活介護に加え、医療管理下でのリハビリテーションを実施し、ご利用者の身体機能の維持・向上を支援します。

在宅介護による心身の負担を軽減する「レスパイト」としてご利用いただけるほか、冠婚葬祭や出張、仕事との両立など、さまざまな生活場面に合わせた利用が可能です。

また、定期的にご利用して頂く事により、施設生活に慣れていただくことで、将来入所が必要になった際も、スムーズに移行することができます。

ショートステイ中でも
リハビリが
出来ます！





よくある質問

Q 1 入所するには準備金が必要ですか？

A 1 申し込み時や入所時の準備金などは、必要ありません。ただし、入所判定をする際は、自己負担で主治医による診断書の作成をお願いしております。

Q 2 健康管理はどうされていますか？

A 2 老人保健施設は、施設医師が常駐しており、ご利用者の健康管理は、施設医師が回診日（各フロア月 1 回）を設けて健康管理に努めています。

Q 3 利用料金以外にどんな費用が必要ですか？

A 3 業者による洗濯を希望される場合は業者洗濯代、リース服を希望される場合はリース服代、TV を持ち込まれる方は電気使用料金がかかります。介護用品などの実費は自己負担になります。

Q 4 入浴は週何回できますか？

A 4 入浴は、週 2 回実施しています。入浴日に入浴出来なかった方には、蒸しタオルで身体を清拭させていただきます。浴室は 3 種類（一般浴・チェアインバス・特殊浴）があり、お身体の状態にあわせた入浴方法で実施します。

Q 5 オムツ代は、いくらですか？

A 5 オムツ・パット類の費用は利用料金に含まれています。その為、追加料金が発生することはありません。

MAP



老人保健施設 清華苑養力センター

〒674-0051

明石市大久保町大窪 3107-5

TEL 078-934-0070

FAX 078-934-0058



清華苑養力センターは、第二神明沿い南側に立地しています



法人公式ホームページ